



主な議案

監査報告

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

## 新たな目標に向けての対応は「事例などを参考に利用率上昇を目指す」

石川 清明 議員

**議員** ジェネリック医薬品の新たな数量シェアが定められたが、戸田市において目標に向けての対応と課題について伺う。

**福祉部長** 平成26年9月から、差額通知の対象範囲、送付件数を大幅に拡大したこと、また、昨年度から配布しているジェネリック医薬品希望シールの配布、啓発活動により、被保険者へ積極的にジェネリック医薬品を推奨し、目標達成を目指していく。また、ジェネリック医薬品推進に向けて、粗大ごみ券の価格を見直しはどうか。

薬品希望シールが好評で、これを保険証やお薬手帳に貼ることによって、ジェネリック医薬品の希望を伝えやすくなったという声もあり、平成26年度以降、大きく利用率も上昇した。引き続き、差額通知事業や希望シールの配布、啓発活動により、被保険者へ積極的にジェネリック医薬品を推奨し、目標達成を目指していく。また、ジェネリック医薬品推進に向けて、粗大ごみ券の価格を見直しはどうか。

ジェネリック医薬品希望シール

ジェネリック医薬品(後発医薬品)を手軽に使用していただくために、「ジェネリック医薬品希望シール」をご用意しました。このシールをはがして、保険証やお薬手帳に貼り付けてください。

※ジェネリック医薬品の使用については、医師・薬剤師にお気軽にご相談ください。

入学的段階で未納者を絞り込むことと考える。給食費の納入方法を、現在の集金や口座引き落としから、今後は「児童手当からの天引き」に統一してはどうか。

**議員** 本年オープンしている公共施設の費用節減を

た「あいパル」や「こども国」に関して、コスト意識が甘かったように思う。今後は、公共施設の更新に際して、①建設費の上限設定②指定管理料の上限設定③補助金獲得に向けた複眼的検討を行うべきでは。

**財務部長** ①検討する②本年7月に基本方針を改訂した③部署間で連携して取り組む。

**議員** 利便性向上のために粗大ごみ券をコンビニで販売してはどうか。また、粗大ごみ事業の赤字額は大きい



▲コンビニで粗大ごみ券が販売されれば、仕事帰りの方も購入できるようになります。

## 粗大ごみ券

### コンビニでの販売と価格の見直しを行っては

真木大輔 議員

「検討する」

環境経済部長 近隣市と比べて低廉な価格であり、見直しが必要である。その中で、粗大ごみ券のコンビニ販売の導入も検討する。

**議員** 給食費に関して、生活困窮家庭への支援体制は整っており、未納の多くは意図的なものである。未納者に対する法的措置の考えは。

**議員** 本年オープンしている公共施設の費用節減を

た「あいパル」や「こども国」に関して、コスト意識が甘かったように思う。今後は、公共施設の更新に際して、①建設費の上限設定②指定管理料の上限設定③補助金獲得に向けた複眼的検討を行うべきでは。

## 新法による重点的かつ一体的な整備構想は「整備が進んだ時点で検討をする」

中山 祐介 議員

**議員** 施設や建造物のバリアフリー化は、個々の整備だけでなく、重点的かつ一体的な整備構想を持って進めるべきである。バリアフリー新法による具体的な整備構想はあるか。



基礎の整備が進んだ時点で、同構想の策定に向けた検討をする。

**議員** 旧法における研究成果は政策にどう生かされているのか。

**都市整備部長** 平成15年度から調査・研究を開始したが、平成18年に新法となったため、新たな検討を要する。

できる。各課をまたぐ部分に関しては、各課協力に留意し、つなぎ目の整備を実施していただきたい。また、新法も基盤整備が進んだ時点で基本構想の策定に移れるよう検討をお願いしたい。

**都市整備部長** 各施設の接点となる部分について、連携し整備を進める。また、基盤整備が進んだ時点で、基本構想策定の必要性について検討したい。

**その他の質問**

Q 戸田市オリジナルの原付ナンバー実施の予定は。

A 市制施行50周年記念事業として導入を検討中。

Q ドローンの活用と規制は。

A 改正航空法を見極めながら検討する。

## 市民医療センター

### 収支改善と質向上を目指し提案する

酒井 郁郎 議員

「提案の実施は困難」

**議員** 市民医療センターは、長年にわたり地域の医療供給を担う一利用者からもご意見多数。課題山積！

方、財政負担が生じている。平成23年に「市民医療センター経営改革プラン」を作成したが、収支改善は進んでお

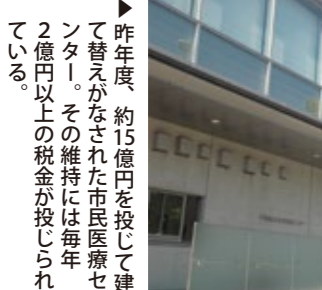
ず、ここ数年は医師不足その他の原因による医療機能の低下も見られる。そこで、収支改善と質向上の両立を目指し、次の提案をさせていただく。①病院経営人材の招聘②専門職人材の持続的確保に向けた人事制度の改正、あるいは弾力的運用(つまり、経営人材や現場の医師、看護師等について、給与額、兼業規定、勤務日数や時間、勉強支援等、雇用

条件を再検討すること)③病院プロパー職員の採用によるスキルの蓄積(現在は市役所本庁との間を2〜3年で配置転換)④周辺医療機関との間における、地域連携ネットワークの強化⑤医療圏の調査と、それに基づく診療科目の随時見直し⑥医療センターが果たすべき役割の再検討、それへ向けた議論の活性化⑦経営目標について、指標となる数値や具体

策(アクションプラン)への落とし込みと実績の検証。これらの1年ごとの公表など過程の「見える化」。以上、検討してはどうか。

**市民医療センター事務長** 提案の実施は困難なものが多い。④は実施済み。

**市長** 提案については検討しながら経営改善を進める。



▶昨年度、約15億円を投じて建て替えがなされた市民医療センター。その維持には毎年2億円以上の税金が投じられている。